

# ふれあい通信

春暖号



## テーマ：子どもの読書活動を応援するために



昨年度に引き続き、「子どもの読書活動を応援するために」というテーマで研修を実施しました。

前半はふれあい学習推進会議での二年間の取組を事例発表として紹介（詳細は裏面）し、後半は、絵本カフェ「なんだかうれしい。」店主の長谷川鈴子氏から御講話いただきました。

塩谷南那須地区において、日頃から子どもの読書活動の推進に関心をもって活動されている方がたくさん参加してくださいました。

塩谷南那須地区ふれあい学習ネットワーク・  
「地域教育コーディネーター養成事業」地域  
実践交流会を開催しました。

## 「絵本が拓く子どもの未来」

講師の長谷川様からは、絵本の読み聞かせを交えながら絵本と子どもの成長について御講話いただきました。ここでは、その一部を御紹介いたします。

- 子どもたちはみんないい大人になりたいと思っていて、その実現のために、自問自答しながら考え、自分の足で歩いたと実感することが大切だが、絵本には、そのことを表現したものがあがる。
- 脳の発達に応じた絵本の選び方があるので、発達段階に応じて絵本を選ぶとよい。
- 読み聞かせは、仲間を確かめるオキシトシン（愛情ホルモン）が出るので、絵本をとおして同じ時間、同じ空間の中で絵本の感動を共有できる。

今回の研修には、小・中学校だけでなく、幼稚園・保育所からも子どもの読書活動推進に関わる多くの方に御参加いただきました。幼少期から、たくさん大人の関わり、本の好きな子どもが増えていったら幸いです。



絵本カフェ「なんだかうれしい。」  
店主 長谷川 鈴子 氏

2/5  
(火)

### 参加したみなさんからの声～アンケートから～

- ・ 講演会でたくさんのお本を紹介していただいてとても参考になった。読み聞かせができる機会を増やしていきたいと思った。
- ・ 講演を聞いて、読み聞かせだけに限らず、改めて子どもとの向き合い方について考える機会になった。
- ・ 改めて絵本のもつ力を考えさせられた。



# 塩谷南那須地区ふれあい学習推進会議の取組

二月五日（火）に実施した「ふれあい学習ネットワーク」に合わせ、ふれあい学習推進会議で昨年度から取り組んできた内容を事例発表として紹介しました。

昨年度は、子どもたちの年齢が上がるにつれて不読率（一か月に本をほとんど読まない）が高くなる傾向があり、高校生になると四十パーセントを超えるという実態を踏まえ、学校・家庭・地域みんなでできることを協議してきました。

その内容をもとに、今年度は、子どもの読書推進をテーマとした参加体験型のプログラムを作成しました。



事例を発表する「ふれあい学習推進委員」のお二人  
大澤純子氏（東郷親育ちスマイルネット「ぱれっと」那須烏山支部長）  
湯澤美由紀氏（那須烏山市教育委員会生涯学習課 係長）

このプログラムは、右のプログラム（例）にあるように「読み聞かせ」を主な内容として、保護者（特に未就学児や小学校低学年の子どもをもつ方）を対象にして作成したものです。

絵本を読み聞かせするときは、縦書きと横書きの本ではページをめくる（送る）時にそれぞれやりやすい方向がある等、読み聞かせの方法について説明をした後、参加者にはペアになって実際に読み聞かせの体験をしていただくという内容です。

プログラムと併せて使うことのできる説明資料です。

アレンジ可能!



資料①: 読み聞かせのよさ

資料②: 読み聞かせの効果

プログラム内容(例)

〇〇小学校保護者会レジュメ  
平成 年 月 日 ( ) : ~

「子どもと楽しく話そう」  
～読み聞かせや読書をおして～

- 1 まずは、自己紹介
- 2 「読み聞かせ」はどうするのかもわかる？  
・効果的な方法とは・・・  
・読み聞かせをしてみよう！  

- 3 [資料]から  
・読み聞かせがもたらす効果について  
・おススメの本紹介
- 4 読み聞かせや読書について、これからやってみたいと思うこと  

- 5 ふいかえり

平成30年度塩谷南那須地区ふれあい学習推進会議作成

子どもをひざに乗せて読み聞かせをしよう！

1 ひざは絵本の指定席

・読み聞かせは人生でこの時期だけの体験です。  
・お父さん、お母さんの声は子どもに心地よく響きます。  
・子どもの気持ちやひざを温めて伝わります。  
・声の調子が聞かせやすい「読み聞かせ」の資料から引用

- ① 絵本は30センチ幅で読むようにできていて、ひざの上にのせて読んであげてほしい。
- ② 5分くらいで終わるものがほとんどなので、ぜひ時間を決めてあげてほしい。
- ③ 前のページに戻ったり、絵本の文章どおりでなくてもOK！同じ絵本を何回読んでもよい。（子どもの興味に合わせて）
- ④ できれば、絵本は人にあげたりせず、取っておきたい思い出として残す。（自分の子どもや孫へ）


2 どうしてでしょう

子どもたちは絵本が大好きです  
どうしてでしょう。  
それは大好きな人が読んで聞かせてくれるから。

気に入った絵本は何度もリクエスト。  
どうしてでしょう。  
それはその子が  
自由に選べる世界が見つかったから。

大人になっても懐かしい絵本があるのは  
どうしてでしょう。  
それは読んでくれた人の  
ぬくもりが忘れられないから。

「UPIC読み聞かせポスター-実践講座」阿部直氏の資料から引用



平成30年度塩谷南那須地区ふれあい学習推進会議作成

～絵本の読み聞かせがもたらす効果について～

1. 子どもの頃に行う読書の大切さ

国立青少年教育振興機構が2018年に行った調査では、就学前から中学時代までに読書頻度が多い高読生・中学生ほど就職や未来志向、前向き思考などの様々なことがらにおいて現在の幸福・能力が高いことが分かっていました。

さらに、就学前から小学校低学年までの「家庭から読書に関心したこと」・「本や絵本の読み聞かせをもらったこと」・「絵本を読んだこと」といった影響因子は、現在における社会的や文化的作法・教養との関係が強いことが分かっていました。

2. 読み聞かせの効果は科学的にも証明済み！

実際に読み聞かせがどのような効果をもたらしているのかを脳科学に調査した研究があります。その研究は「読書時」「音読時」「読み聞かせ時」の脳活動を観察したものでありますが、唯一「読み聞かせ時」のみ、心を落ち着かせる効果があることが結果として示されました。


また、読み聞かせの話し手、聞き手が親子関係ではない場合や、成人が成人に読み聞かせを行う場合でも同じリラックス効果があるそうです。

3. 親子で読み聞かせを行うメリット

- ・親子でコミュニケーションをとることができる
- ・子どもが本に興味を持つきっかけになる
- ・子どもの知識量や想像力が豊かになる
- ・親子の本を読むことで新たな発見ができる
- ・子どもだけでなく、親の気配や感情を豊かにさせる

このように、読み聞かせには多くのメリットがあります。  
ぜひご家庭でも読み聞かせをしてあげませんか？


（参考文献）  
・高橋「『絵本の読み聞かせ』の効果を脳科学的に分析する」読書時、音読時との比較・分析～  
読書時、2018 vol.52, no.2, p.69-100  
・岡田等、平岡等、宇野「読書による子どもの脳活動の発達段階と読書時の心身の発達」  
読書時、2018 vol.52, no.1-2, p.1-12



保護者会やPTA  
の研修会等で使うことのできるプログラムと資料です。

活用を検討する際は、塩谷南那須教育事務所ふれあい学習課までお問合せください！

☎0287-43-0176



1年間お世話になりました。